

議事要旨

会議名称	第 1 2 回 渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する会議
開催日時	令和 8 年 6 月 1 1 日(木) 午後 6 時 00 分~午後 7 時 0 0 分
開催場所	Microsoft 社の Teams を使用したオンライン開催
次第	議題 ・男女平等・多様性社会推進行動計画の改定について ・その他
出席者	【委員】 小川委員（会長）、北村委員、小林委員、清水委員、鈴木委員、新屋委員、中川委員、藤原委員、星野委員、森下委員 【事務局】 総務部長、インクルーシブシティ推進課長、インクルーシブシティ推進係長、アイリス特別専門員、インクルーシブシティ推進係主任、インクルーシブシティ推進係主事
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0 人
主な内容	概要は以下のとおり。 【議題 1 男女平等・多様性社会推進行動計画の改定について】 ・男女平等・多様性社会推進行動計画（行動計画）の改定に当たり、答申案について説明。 ・「多様な主体を構成する要素」における「①SOGIE に関する要素」に記載の「例：異性愛男性、異性愛女性、性的マイノリティ等」について、マジョリティの後にマイノリティを例示するという順番や、多様な人々を「性的マイノリティ」として一括りにすることについて違和感が示された。例示の順番を検討すべきとの意見や、性自認（シスジェンダー、トランスジェンダー、ノンバイナリー等）や性的指向（異性愛、同性愛、両性愛、アセクシュアル等）を分けて丁寧に例示すべきとの意見があった。また、わかりやすさと網羅性のバランスをとる必要性や、ジェンダー表現の例示の難しさが提起された。 ・「1. 次期行動計画の基本的な考え方」について、「性的指向及びジェン

ダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」に基づく基本計画の策定に先立ち、渋谷区が行動計画を策定し、取組を進めてきたことの意義を強調してはどうかとの提案があった。これに関連し、渋谷区「令和 7 年度人権尊重社会推進に関する意識調査」において、関連する結果がある場合には、それをグラフなどで紹介するという案が示された。

- ・ IPV について、「親密なパートナー間の暴力 (IPV)」と表記を統一したことで分かりやすくなり、用語の普及啓発に資すると評価する意見があった。
- ・ 事務局にて答申案を修正した後、会長預かりで渋谷区に答申を提出することについて、委員から賛同が得られた。

【議題 2 その他】

- ・ 渋谷区人権を尊重し差別をなくす社会を推進する条例に基づく苦情対応について、事務処理要領を作成し、「人権侵害でのお困りについて」として渋谷区ウェブサイトに掲載した旨を報告。
- ・ 犯罪被害者等支援について、渋谷区犯罪被害者等支援審議会のスケジュール、パブリック・コメントの実施、庁内研修について報告。
- ・ アイリス実施事業の実施状況と今後の予定、Tokyo Pride 2026 での活動、渋谷プライド文化祭の企画等について報告。
- ・ 委員より、Tokyo Pride 2026 の関連イベント Human Rights Conference 等についての情報共有もなされた。

最後に、今期最後の推進会議であることから、総務部長より挨拶・御礼を申し上げ、閉会とした。

以上